

太田地区まちづくり懇談会 懇談事項

平成29年5月25日(木)

地区	No.	懇談事項	説明	担当部課名
太田	1	<p>太田地区消防防災体制強化について</p> <p>(太田地区には現在、西消防署城西出張所太田分駐所が配置されているが、救急車の配備がなく、災害時や平常時の傷病者の搬送のために、救急車の配備等、消防防災体制強化について懇談したい。)</p> <p>盛岡市西部に位置する太田地区は盛岡市に合併し、今年で62年が経過しました。合併後、滝田橋、舟場橋、西大橋、太田橋、盛南大橋等多くの架橋が整備され、太田地区は盛南地区に隣接し、市中心部へ短時間で移動できる住みよい条件を具備しておりますが、それは平常時のときで、北に雫石川、その上流の御所ダム、西部に奥羽山系の山並みを抱えているため、地震、台風、洪水被害等の自然災害が発生した場合は、雫石川の氾濫や集中豪雨により住居地の水位上昇が懸念されます。</p> <p>市関係当局の水位上昇見直し説明会において、太田地区雫石川流域住居地で約50cmから3m上昇することが想定されると説明をいただきました。</p> <p>災害による水位上昇時には橋が橋としての機能を果たせず災害発生時、弱者救護の面において必要とされる救急車の配車が不可能となることが予想されます。</p> <p>災害において地域が孤立した場合、地域の安心安全を守るため、大規模災害時の対応として、被災者の救出、救護、傷病者の医療機関への搬送の局面において、太田地区全域、上飯岡地区、下鹿妻地区、本宮西部地区をカバーできる救急車の配備のため、太田地区に設置した消防防災体制の強化が必要です。</p> <p>本日の懇談の内容を御賢察いただきまして、対応をよろしくお願い致します。</p>	<p>盛岡市内の救急業務につきましては、13消防署所のうち市内の適正な配置を考慮し、8消防署所に救急自動車を配備して救急活動を行っております。</p> <p>現在の太田地区への救急自動車の出動態勢は、城西出張所、盛岡中央消防署及び仙北出張所の直近隊の救急自動車に対応しております。</p> <p>また、集中豪雨等に伴う河川水位の上昇による地域の孤立対応につきましては、平成28年6月に国土交通省が公表した洪水浸水想定区域に基づき、盛岡市内を北上川、雫石川、中津川、で分断した5地区(中央、東及び南東、西、南、玉山)に区割りし、気象状況などの災害情報により、事前に各署所の消防車両を移動配備して対応することとしております。</p> <p>救急自動車の増車につきましては、消防職員の増員や救急救命士の養成、市域全体の消防署所の配置状況なども勘案しながら検討してまいります。</p>	<p>総務部 危機管理防災課 消防対策室</p>

太田地区まちづくり懇談会 懇談事項

平成29年5月25日(木)

地区	No.	懇談事項	説明	担当部課名
太田	2	<p>太田地区の活性化について</p> <p>(太田地区活性化のために本宮地区の文化施設と太田地区の歴史観光施設との連携を図るため、実施方法、双方の相乗効果について懇談したい。)</p> <p>太田地区は、核家族化が進み、高齢化による一人暮らしの世帯が増加し、少子高齢化と農業等の産業の衰退による人口減少社会の中で地域活性化対策が大きな課題となっております。盛南隣接地として都市機能を整備できる地理的条件はあるとしても農振法の関係で市街化区域編入は困難と思われまます。農業振興地域として、地元農業を活用した6次産業と太田が有する自然環境(山里、神社)志波城古代公園の活用を地元伝統芸能とマッチさせ、県内外からの観光誘致に向けた取組が望まれます。</p> <p>現在ある太田の観光資源と本宮地区の学術施設との連携した観光客を受け入れる交通手段、交通マップを作成することにより、太田地区の観光資源と本宮地区の歴史、文化施設との相乗性を考慮した施設単独の受入れ態勢ではなく、本宮地区文化施設と太田地区観光資源の連携した施設見学受入れ態勢を作る必要を感じます。</p> <p>太田地区の観光資源 志波城古代公園、太田民俗資料館、峰薬師神社、太田イギリス海岸、太田桜並木、大屋敷神社、愛宕神社、熊野神社、宰郷家庭園のけやき、上平遺跡</p> <p>連携した施設(本宮地区) 遺跡の学び館、先人記念館、県立美術館、子ども科学館、原敬記念館</p>	<p>6次産業化の支援につきましては、平成29年度から1次産業と2次産業、3次産業の連携を強化して、「所得の向上と夢のある農業」の実現に向けた「食と農のバリューアップ推進事業」を進めることとしております。</p> <p>太田地区・本宮地区の歴史・文化施設の連携につきましては、志波城古代公園と本宮地区の5施設を合わせた盛岡ゆいとぴあミュージアムネットワーク(略称:もりとぴあねっと)を創設し、インターネットや、リーフレットを活用して、より多くの人々に訪れていただけるようPRをしてきたところでありまます。</p> <p>また、志波城古代公園は、今年20周年を迎えることから、地元の小学校(太田、太田東、向中野、本宮)の児童と地元農家団体に参加いただき、花壇の整備を行ったり、大宮中学校と市立高校の生徒達により結成されたボランティア志波城応援隊の活動など、よりにぎわいのある施設となるよう新たな取組を始めております。</p> <p>なお、日本遺産の認定につきましては、今回は惜しくも選に漏れましたが、矢巾町の徳丹城、奥州市の胆沢城、秋田市の秋田城、大仙市の払田柵と連携しながら、認定に向けて引き続き取り組んでまいります。</p> <p>今後も、地元の方々の御意見や地域活動等も踏まえながら、当地区の活性化につながる支援について考えてまいります。</p> <p>太田地区は、国史跡志波城跡・志波城古代公園や太田民俗資料館、民俗芸能や自然環境など、優れた地域資源を有しております。また、遺跡の学び館や先人記念館などの文化施設を有する本宮地区や、大規模商業施設が立地し、国道46号西バイパスの開通で集客力が一層高まっている盛南地区、盛岡の奥座敷・つなぎ温泉にも近いことから、これら近隣エリアと連携することにより、交流人口の増加や、大きな相乗効果が期待できる環境にあると考えております。</p> <p>市では、太田地区及び本宮地区の主な施設について、市ホームページを活用し、交通アクセスを含めた情報発信を行っているほか、矢巾町、紫波町を含んだ三市町の西部地区の観光の活性化を図ることを目的とした盛岡・矢巾・紫波広域観光推進協議会においてガイドマップを作成するなどの取組を行っておりますが、今後におきましても、エリア内の観光情報や地域資源については、インターネットなどを活用した効果的な情報発信や関係機関に対して働きかけを行うなど、観光客の誘致につながるよう努めてまいりたいと存じます。</p>	<p>農林部 農政課</p> <p>教育委員会 生涯学習課 歴史文化課</p> <p>商工観光部 観光交流課</p>